

平成 21 年 12 月 2 日

各 位

西日本シティ銀行

消費者動向調査 No.105 「冬のボーナス使いみち調査」

西日本シティ銀行(頭取 久保田勇夫)は、消費者動向調査を定期的を実施しております。今般、「冬のボーナス使いみち調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

記

調査結果要約

調査時期：平成 21 年 10 月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦 500 人
(うち回答者 494 人、回答率 98.8%)

- ◆ **今年の冬のボーナス支給予想、昨年冬と比較して「少なくなる」が 40.7%。「多くなる」は 5.4%。**
昨年冬よりも、ボーナスが「少なくなる」と予想する割合は 3 年連続して増加。
(調査結果本文 2P)
- ◆ **冬のボーナスの使いみち予定、1 位は「貯蓄」で 60.7%。2 位は「旅行・レジャー」で 35.8%。**
冬のボーナス支出予定 1 位は「貯蓄」60.7%で、60%を超えるのは平成 6 年冬以来 15 年ぶり。
(調査結果本文 3P)
- ◆ **ボーナスを貯蓄する目的、1 位は「将来の生活費補てんのため」が 38.9%。2 位は「老後資金の備え」が 33.2%。**
経済の先行きや雇用に対する不安のあらわれか、将来への備えが上位を占めている。
(調査結果本文 4P)
- ◆ **ボーナスを貯蓄する場合の考え、「元本の安全性を重視したい」が 45.9%で 1 位。**
昨秋以降、元本を確実に“守る”意識が高まっていたが、徐々に収益性も重視する考え方が戻ってきている。
(調査結果本文 5P)
- ◆ **関心がある金融商品、1 位は「預貯金」で 66.4%。2 位は「保険・共済」が 7.4 ポイント増加し 35.8%。**
将来への不安からか「保険・共済」が、平成 20 年夏から一貫して増加傾向。
(調査結果本文 6P)
- ◆ **冬のボーナス、自由に使える金額は、昨年と比べ夫・妻ともに 1 千円ダウン。**
(調査結果本文 7P)

[調査結果本文はこちら](#)

この調査に関するお問い合わせは
西日本シティ銀行 広報文化部 堺まで
TEL 092-461-1869

以 上